

編集後記

こころのクリニックOASIS

松本和紀

本号では、第26回日本精神保健・予防学会学術集会(大会長：伊豫雅臣先生)での講演やシンポジウムでの発表をもとに特集を組ませていただきました。学術集会は「適切な早期介入による難治化の予防」をテーマに、2日間にわたり千葉大学医学部亥鼻キャンパス医学系総合研究棟にて開催されました。一つの会場に参加者が集い、同じ講演を聴講できる形で実施され、さらに懇親会も開催されました。参加者同士が密に集まり、意見を交わし合う機会が豊富であったことから、コロナ禍後の新たな日常を実感できる学会となりました。本特集では、学術集会の内容を反映し、統合失調症のみならず、発達症や摂食障害への早期介入、さらには社会や地域における実装に向けた取り組みなど、学会の活動の幅広さを感じていただける内容となっています。また、巻頭言では、新たに本学会の理事長に就任された根本隆洋先生よりご挨拶を賜りました。本学会の今後の発展に向けた力強いメッセージが込められており、多くの読者にとって心躍る内容となったのではないのでしょうか。